

日吉商店街で、コロナ禍の安全安心を提供する取組を開始 ～店舗の混雑状況を、リアルタイムに可視化～



横浜市では、「I・TOP横浜ラボ」を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内商店街の活性化支援をテーマに、企業等から新たなIoT製品・サービスに関する提案を受け付け、それらの試験導入を希望する商店街とのマッチングを進めています。

このたび、株式会社バカンからの提案である、マップ型空き・混雑状況の配信システム「VACAN Maps（バカン マップス）」を日吉商店街の希望店舗で6月1日から2か月間、試験導入します。



1 取組内容

試験導入システム	マップ型空き・混雑状況の発信システム「VACAN Maps」
費用	無償（提案事業者の負担）
場所	日吉商店街
参加店舗数	15店舗を予定（飲食店、鉄道駅、ジム等）
期間	令和3年6月1日から令和3年7月31日まで
内容	参加店舗がスマートフォン等を通じてリアルタイムの混雑状況を発信した結果がウェブサイト上に表示されます。 これにより、来街者は事前に各店舗の混雑状況を把握することが可能となり、密を避けて安心して店舗に来店することが可能となります。

以下のホームページにて現在の状況をご確認いただけます。

<https://vacan.com/>

VACANのソリューション

混雑情報が手元で確認できることで「密を回避する」選択を促し、分散利用を実現

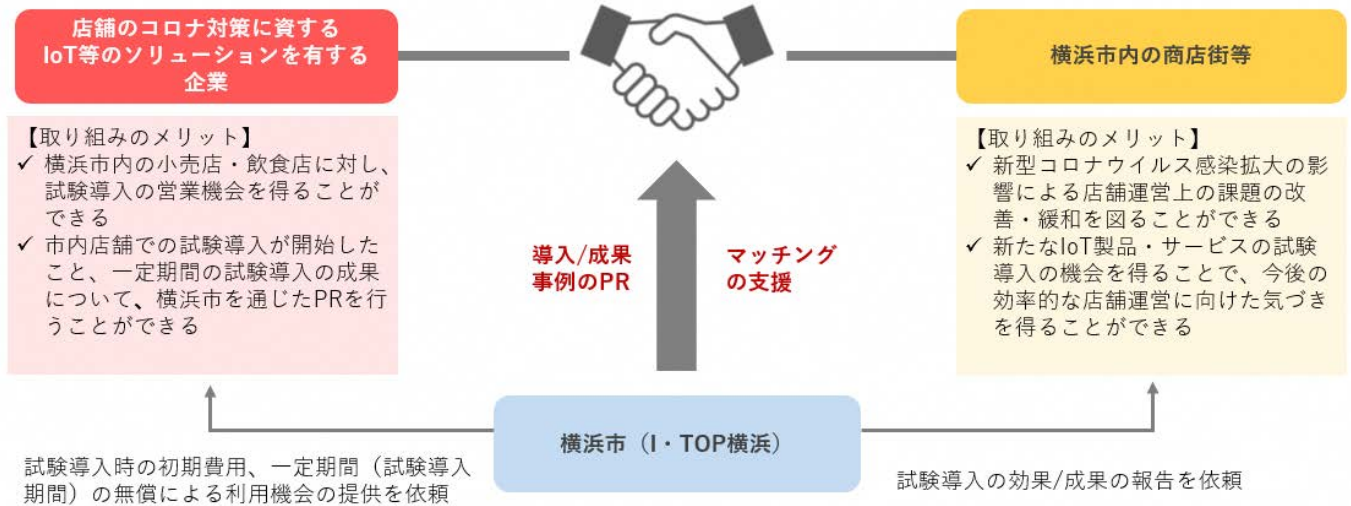


2 「I・TOP 横浜ラボ」の取組概要

募集テーマ	商店街の活性化に繋がる IoT 製品・IoT サービス
募集期間	令和4年(2022年) 1月31日(月) 17:00 まで
募集形式	公募
実証実験の実施時期	令和3年度中(2021年度中) ※開始時期、期間については、提案内容によって調整させていただく場合があります
実証実験(試験導入)のフィールド	製品・サービスの試験導入を希望する横浜市内の商店街等

※応募資格、応募方法、過去の採択内容は下記HPをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/iot/itop/itoplalab3.html>



3 これまでに採択された提案内容(令和3年6月1日時点)

企業名	提案内容
株式会社ロコガイド	混雑状況の発信・3密抑制『混雑ランプ』
コグラフ株式会社	カンタンAI 電話対応代行・録音システム『マヤイ』
株式会社レスティル	半径5キロのEC&デリバリープラットフォーム『ポスケット』
株式会社バカン	・マップ型の空き・混雑情報配信サービス『VACAN Maps』 ・デジタル整理券サービス『VACAN Noline』
株式会社 LightblueTechnology	未着用の人に対して注意を促す『マスク着用判定+声掛けAI』
WED 株式会社	レシート買取アプリ『ONE (ワン)』

お問合せ先

【I・TOP横浜に関すること】	経済局産業連携推進課担当課長	佐藤 慎一	Tel 045-671-3591
【商店街振興に関すること】	経済局商業振興課長	押見 保志	Tel 045-671-3488

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。